

行田歴史系譜 340

資料がかたる 行田の歴史

40

近世人が選んだふるさと八景

日本における八景は、中国の湖南省にある瀟湘八景(山市晴嵐・漁村夕照・遠浦帰帆・瀟湘夜雨・煙寺晚鐘・洞庭秋月・平沙落雁・江天暮雪)になぞらえて、土地の名勝を選んだのが始まりとされます。江戸時代後期には近江八景(滋賀県)や金沢八景(神奈川県)を描いた浮世絵が、当時の旅行ブームと相まって人気を博しました。



『泉山景境詩歌集 天』(埼玉県立図書館デジタルアーカイブより一部抜粋)

八景と名のつく景勝地は全国にありますが、行田市域でもこれまで複数の八景が選定されています。北河原村の泉福山照岩寺(行田市北河原)の僧侶・竺岩が元文2年(1737)に出版した『泉山景境詩歌集』では、照岩寺を中心とした周囲の風景から泉山八景が選ばれています。詩歌集は3巻構成で、禅僧や公卿などの名士文人がそれぞれの名勝を題材に作った漢詩、和歌、連歌が集められ、1巻目には挿絵も載っています。泉山八景は日光(黒髪山)晴嵐・筑波根夕照・赤城暮雪・泉山秋月・熊谷晚鐘・利根川帰帆・

成田落雁・長井夜雨とされ、瀟湘八景の名付けと対応する形式です。日光、筑波根(筑波山)、赤城といった遠方の地名も含まれていますが、照岩寺の立地は利根川に近く、川向こうに見える隣国の山々の姿も身近な名勝としてとらえていたのではないのでしょうか。それから約百年後の天保11年(1840)、別の八景が忍城下で選定されました。この時に忍八景と称して選ばれたのは、日光の暮雪・利根の帰帆・熊谷の晚鐘・荒川の夕照・櫓の晴嵐・城外の落雁・丸墓の秋月・尾崎の夜雨です。これを題材とした句を額に仕立てて佐間村の天満宮に奉納するため、城下の武士と佐間組の村々に住む農民が共同したことが佐間の旧家に伝わる資料から分かっています。北河原村で選ばれた泉山八景と異なる点として、櫓や丸墓(丸墓山古墳)、尾崎(小崎沼)など忍城下から南の地域にある場所が多く選ばれており、当時の城下とその周辺に住む人々が考える名勝がどのようなものであったかをうかがい知ることができます。特に丸墓山古墳と小崎沼は、18世紀後半から19世紀前半にかけて藩主阿部氏や俳人、神社関係者などを通じて内外に知られたことで、名勝としてより強く認識されるようになったのかもしれない。(郷土博物館 岡本夏実)

はじめまして



令和3年9月生まれのお子さんを募集します

- 7月1日(金)~29日(金)に電話またはEメールで広報広聴課(内線318) ※応募要領は市ホームページをご覧ください。
応募者多数の場合は、8月1日(月)午前11時から市役所203会議室で公開抽選を行います。



令和3年7月生まれのおともだち



大幡帆乃香ちゃん(駒形)
令和3年7月3日生まれ
父・智志さん 母・佳子さん
「毎日笑顔がありがとう♡」



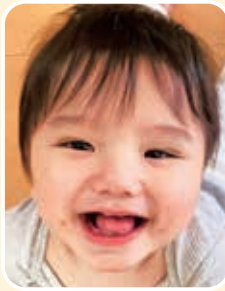
三品海生ちゃん(長野)
令和3年7月24日生まれ
父・正輝さん 母・恵海さん
「出生654g!大きくなったね!」



本間絢晴ちゃん(城南)
令和3年7月12日生まれ
父・直樹さん 母・希さん
「我家のやんちゃ坊主」



川崎壮真ちゃん(下忍)
令和3年7月23日生まれ
父・雅敏さん 母・友紀子さん
「元気に生まれてきてくれてありがとう♡」



児玉蒼空ちゃん(城西)
令和3年7月5日生まれ
父・和之さん 母・真澄さん
「我が家の愛されマンネ♡」



黒澤英仁ちゃん(長野)
令和3年7月15日生まれ
父・暁史さん 母・祐美さん
「我が家の3人目、」

今月の表紙

今年の4月から成人年齢が20歳から18歳に引き下げられました。18歳になる県立進修館高等学校の3年生も「大人」仲間入りです。

今月は民法改正による変更点や、契約する上でトラブルを回避するポイントを消費生活センターの方のアドバイスを交えながら紹介します。



現在の友だち登録数28,800人!

行田市公式LINEの友だち登録はこちらから!

● 市政・イベント・防災などに関する行政情報を発信します。



ホームページ https://www.city.gyoda.lg.jp



環境にやさしい植物油インキ

市報ぎょうだは再生紙を使用しています